

2018年3月24日

課題名：在胎 26 週未満の超早産児における急性期の至適平均動脈血圧の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、在胎 26 週未満の超早産児について急性期のバイタルサインの変動、特に血圧と尿量の変化を調べることによって、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2007 年 4 月から、2012 年 3 月までの間に、在胎 26 週未満で出生された超早産児。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、出生時身長、出生時体重、出生時頭囲、在胎週数、入院中の治療の経過、各種検査の結果、バイタルサインの変動、観血的動脈圧測定値、アプガースコア値、血液検査、尿検査、血液ガス検査、超音波検査、尿量、使用薬剤名とその使用期間、人工呼吸器使用期間、酸素使用期間、修正 1 歳半と 3 歳、6 歳での発達検査データ

◆研究方法◆

本研究は過去の診療記録（カルテやバイタル表）を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

小児科 研究責任者 高橋 章仁

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明